

久里浜駅から
500m。久里浜
湾・平作川、住
宅のすぐそば

GNF-Jを知っていますか？

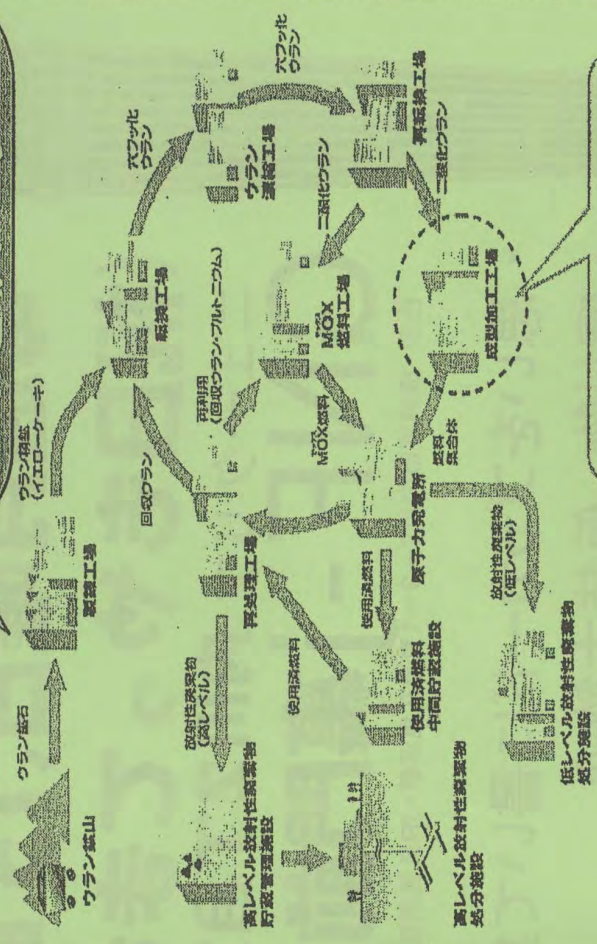
原発燃料製造工場がすぐそこに

原料や製品の
輸送も知らぬ間
に一般道と高速
道路を使用。

4月に、GNFが保安院に提出したストレステストの報告書を
見ると、地震や津に対する評価も甘く、予想される液状化は対
象にもしていません。 [tp://www.gnfjapan.com/news/important.html](http://www.gnfjapan.com/news/important.html)

こんな年起きています！事故や被ばく労働の実態

70年代	放射能で汚染された排水を、平作川に垂れ流し、 1年間操業停止。
84年頃	「下請けの25歳の男性作業員が、歯を抜いて出血が 止まらず亡くなった。」と市民団体による聞き取り 調査で、母親から聞く。
2000年 8月	近ののリサイクル（鉄くず）工場で、機雷を切断し 大爆発。事務棟の窓ガラス30枚も割れる。
2008年 8月	ウラン回収室で、受けタンクに入っていたウラン溶 液に、作業手順を誤って流れた過酸化水素水が化学 反応を起こし、泡立ってしゅきが飛散。作業員2名 と、駆けつけた2名が被ばく。
2010年 7月	ペレットに成型するプレス機の点検用ののぞき穴を 開め忘れて操業再開。粉末ウラン8g（100万Bq）が 飛散。20代男性従業員が1.12mSvの被ばく。通報基 準を越えていたが、6時間後に保安院に通報。
2010年10月	ウランを高温で焼き固める工程で使用する水素の配 管の交換作業で、点検のために使用した火気が、穴 が開いていた場所から漏れた水素で火災発生。公益 通報により判明。
2010年12月	ウランを焼き固める電気炉の温度計が壊れて高温に なりすぎ、手動で止めた。通常は1700～1800℃
2011年 4月	放射性廃棄物が入ったドラム缶の一つが腐食し、放 射能を含んだ液体が漏れ出す。市民団体の聞き取り で、ドラム缶の総数は18000本と判明。



GNF-Jでは燃料の成型加工の他に
新燃料の開発、炉心・燃料の安全管理、
原子炉の炉心管理、MOX燃料の設計・
管理も行っています。

核燃料サイクルは破綻！

もう核燃料は作れない。作れない！！

国内※3事業所で作られる核燃料は、核燃料サイクルの一角にすぎま
せん。高速増殖炉(もんじゅ)も再処理(六ヶ所村)も未完成。核廃棄物
も行き場がありません。

- ※原子燃料工業(NFI) <http://www.nfi.co.jp/>
- 三菱原子燃料 <http://www.mnf.co.jp/>
- グローバル・ニュークリア・フュエル・ジャパン(GNF-J) <http://www.gnfjapan.com/>